



千葉市食のブランド「千」について

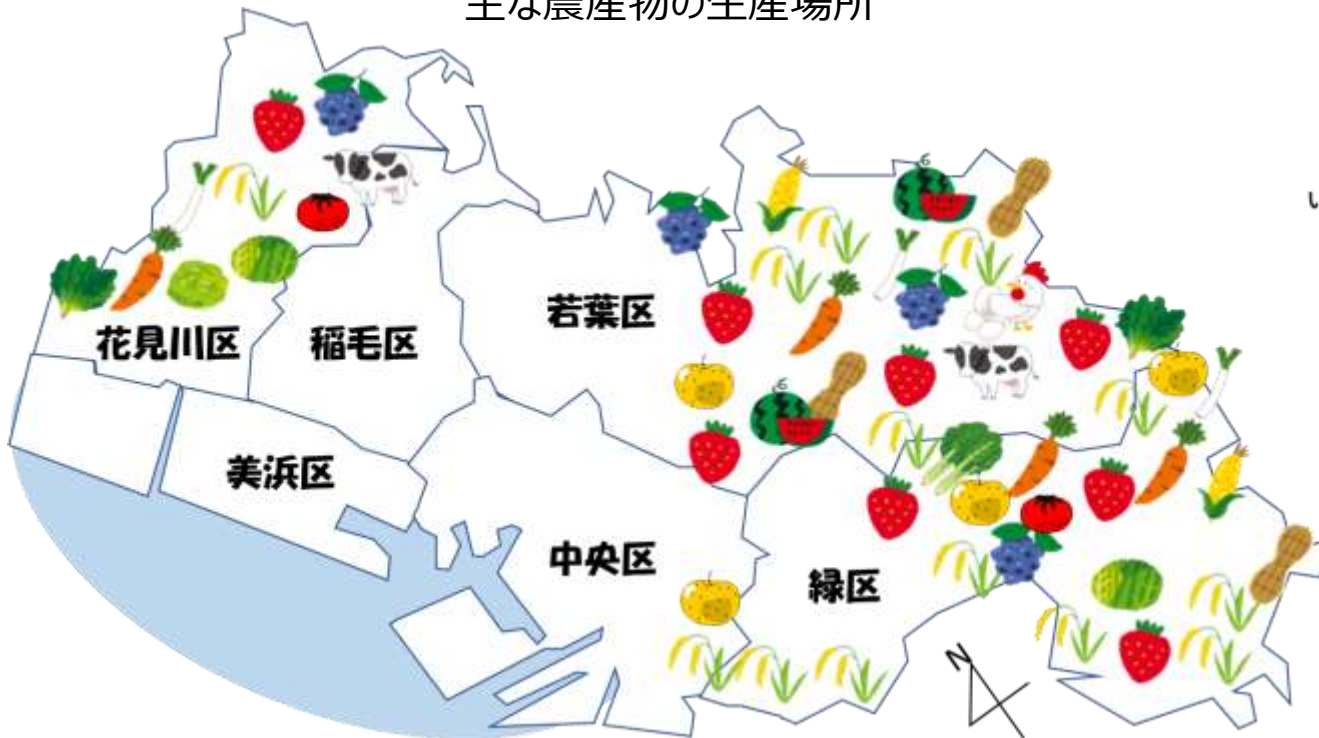
経済農政局農政部農政課



2 千葉市の農業の現状と課題

- 千葉市は、温暖な気候であり、大消費地も近く、**農業に適した環境**
- 野菜をはじめ米、畜産、豆類など**多様な農作物が栽培**されている

主な農産物の生産場所



農業産出額（推計）



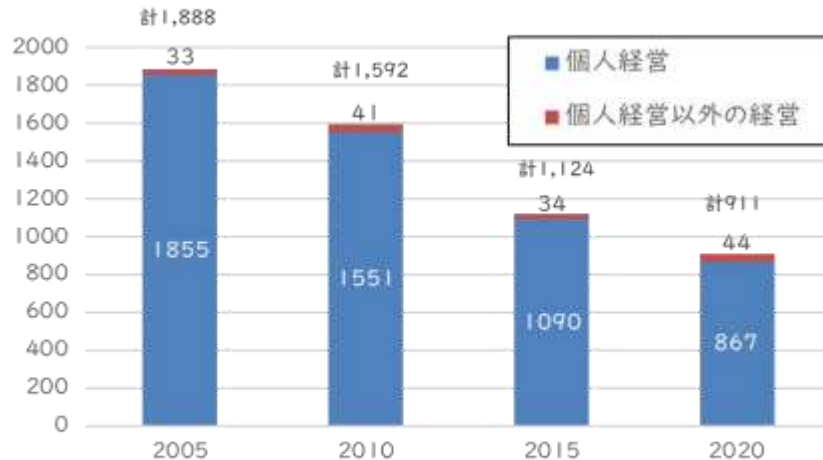
出展:農林水産省「令和3年市町村別農業産出額(推計)」より千葉市作成

2 千葉市の農業の現状と課題

- 令和2年の本市の農業経営体は911経営体で、5年前に比べて213経営体減少。
- 農業経営体のうち、個人経営体の基幹的農業従事者（※）は1,262人で、5年前に比べ333人減少した。また、平均年齢は68.4歳である。

※15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

農業経営体数の推移（単位：経営体）



出展：2020『農林業センサス』より千葉市作成

基幹的農業従事者数（個人経営体）の推移



出展：2020『農林業センサス』より千葉市作成

3 千葉市農業基本計画



- 本市農業が今後10年先を見据えて持続性を確保していくには、40代以下の青年農業経営者を確保し、しっかりと収益を上げられるよう施策展開を図る必要。
- 「千葉市農業基本計画」を策定。今後10年間で、青年農業経営者の数を100人に、また3000万円以上の売上規模層を全体の10%まで引き上げることを目指す。

【農業基本計画の目標】

今後10年間（2020～30）で以下を達成することを目指す。

- ① 40代以下の青年農業経営者の数を**100人**
- ② 3000万以上の売上規模層を**10%**

各目標の背景

① 青年農業経営者数

- 本市農業の持続性を確保するためには、今後も長く農業経営を継続する40代以下の青年農業者を増やすことが急務。
- 2020年の動向では、30代以下は増加傾向にある一方、40代は減少しており、地域の担い手に目を向ける必要。

【現状】2020年の40代以下の青年農業経営者数

50人 ※農林業センサス



【目標】**2030年**の40代以下の青年農業経営者数

100人 (←21人 (試算値))

② 売上規模

- 本市の農業経営の大層は70%以上が300万円以下の小規模農家となっている一方、3000万円超の経営者の占める割合は倍増。
- 更なる農業への参入を促すため、農業以外の職業と同等もしくはそれを超える売上をあげられるよう、農業経営の発展をサポートしていく必要。

【現状】2020年の3000万円以上の売上規模層

3.4% ※農林業センサス



【目標】**2030年**の3000万円以上の売上規模層

10% (←4.3% (試算値))

1. 千葉市農業の担い手の確保・育成

今後10年間を見据え、千葉市農業を牽引する青年農業経営者や後継者、農業法人を確保するとともに、さらに先の時代を見据え、子供達に農業を知ってもらう千葉市農業の「裾野を広げる」施策を展開。

【主な施策】

青年農業経営者の育成と裾野の拡大、後継者対策

- ・次世代向け農育講座
- ・ニューファーマー育成研修
- ・農業継承者経営発展支援

2. 生産・販売力強化による成長産業化

生産については、SDGsや環境に配慮しつつ、スマート農業技術を取り入れた新たな農業技術への転換を促進。販売については食のブランド「千」や地産地消の取組である「つくたべ」を軸に、価値向上や新たな流通システムを導入。

【主な施策】

(1) 農政センターリニューアル

- ・オール電化型イチゴ栽培の実証等
(フラッグシップとなる栽培施設整備)
- ・営農型太陽光発電、有機農業の実証研究
- ・農業技師の営農指導のDX化
- ・農業者とアグリテック企業が連携した技術実証 等

(2) 食のブランド「千」の展開

- ・認定品の充実
- ・ブランドの認知度向上と認定品の売場獲得

(3) 「つくたべ」による地産地消活動

- ・「やさいバス」と連携した新たな域内流通の展開
- ・事業者連携を通じた千葉市農産物の更なる発信

4 千葉市食のブランド「千」について

千葉市食のブランド「千（せん）」は、市・事業者・生産者・市民が一体となり、持続可能性を追求しながら千年後の豊かな千葉市を目指す「食」のブランド。

- 千葉市には**多種多様な商品や農産物**があり、バラエティに富んでいる。
- 千葉市内には90万人住民がいる**一大消費地**。大消費地東京へも近い。
- 一方で、**生産量や製造量が突出して多い商品や大きく差別化された商品・サービス**が少ない。



少量単体で全国ブランドと戦うのではなく
統一した一つのブランドのもと、千葉市が地域一丸となって
食の販路拡大に取り組む

4 千葉市食のブランド「千」について

認定基準

- 「他とは違う千葉市ならでのブランド」と認知してもらうため、明確な認定基準を設定し、基準をクリアした商品、サービスをブランドとして認定

千葉市「食のブランド」の認定基準

認定対象となる商品またはサービスは、以下の3つの分野のいずれかであること。

【対象分野】

(1) 農林水産分野 (2) 加工食品分野 (3) 食関連サービス分野

その上で、以下の2つの条件のいずれか、または両方を満たすものとする。

【審査基準】

- ✓ 千葉市内に生産、製造、開発・加工の拠点またはサービスの提供拠点があること。
- ✓ 千葉市産農林水産物、千葉県産農林水産物を原材料として使用した加工食品、またはそれを活用したサービスであること。
- ✓ 認定項目は地域性、独自性・優位性、信頼性・安全性、持続可能性、地域への貢献度などを考慮したものであり、どの項目においても審査会にて一定以上の評価を得ること。

4 千葉市食のブランド「千」について



認知向上

- より多くの消費者、ブランドを活用するステークホルダーに、ブランドに対し、好感をもって認知されることが、ブランド力の向上につながるため、PRやプロモーションを効果的に実施している。



公式Instagram

フォローしてね！



ブランドサイト



認定品販売会



料理教室の実施



トレインチャンネル

5 「千」認定品購入場所の紹介



店舗

そごう千葉店

食のブランド「千」販売コーナー
(地下1階 卯花塙「諸国名産」売場内)



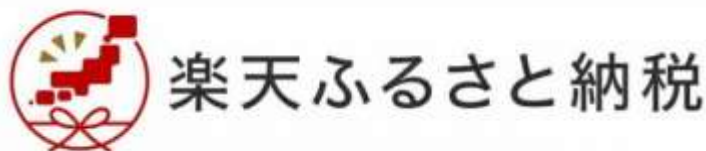
オンライン

イオンネクスト

オンラインマーケット「Green Beans」



ふるさと納税



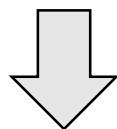
こだわりの詰まった千葉市ならではの
「千」認定品をぜひお試しください！

企業立地について 〈企業立地課〉

企業立地とは

○千葉市に進出する企業の皆様をサポート！

○千葉市で投資する企業の皆様をサポート！



① 税収の確保

② 雇用機会の創出

③ 経済の活性化



千葉市企業立地のご案内

企業立地課の仕事とは

企業誘致・企業立地

- ・ 企業への営業活動、新たな制度設計

補助金業務

- ・ 立地企業への支援

産業用地整備

- ・ 新しい産業用地の検討、整備

各種イベント開催

- ・ 企業立地セミナー、オフィスビル内覧会、マッチングイベントなど



産業用地整備事業のご紹介

(仮称)ネクストコア千葉生実



認定事業者 (共同事業)	【代表事業者】 エム・ケー株式会社 (東京都日野市) 【構成員】 京成電鉄株式会社 (千葉県市川市)
開発事業名	(仮称) ネクストコア千葉生実
開発区域	千葉市中央区生実町2705-1 外101筆
開発面積	約17.2ha
工業用地 面積	約9.0ha (約27,200坪)
総事業費	約40億4200万円 (事業計画認定時)

※画像はイメージ

企業立地セミナーのご紹介

令和4年度企業立地セミナー(市長講演)



令和4年度企業立地セミナー(パネルディスカッション)



令和5年度セミナーチラシ

Just go forward!
~千葉市で広がる可能性~

参加費無料!

千葉市企業立地セミナー

開催日時 令和6年 **3月22日[金]**
13:30~16:00 (受付開始13:00)

会場 大手町プレイスカンファレンスセンター
2階ホールB (東京都千代田区大手町2-3-1)

定員 120名

申込方法 事前申込制 詳細【参加申込書】により、
当日(金)までに、お申込ください。

司会・モデレーター **パネリスト**

千葉市長 神谷 俊一

株式会社Peace Doll 代表取締役 和義田 純子 氏

株式会社バンブー日本株式会社 代表取締役 和義田 純子 氏

上野 金太郎 氏

お問い合わせ

お問い合わせ QRコード

協賛：株式会社千葉銀行・株式会社千葉商業銀行・株式会社京葉銀行・千葉信用金庫・株式会社新工組中央会館千葉支店

主催：千代田区 千葉市 経済振興局 経産部 企業立地課 TEL:043-343-3275 E-MAIL: jg@city.chiba.lg.jp

企業立地課職員としてのやりがい

○企業の皆様からの感謝の言葉！

○地域経済の活性化に貢献できる！

○企業の皆様の成長が実感できる！



ホームタウン推進について (観光MICE企画課)

「MICE(マイス)」
をご存じですか？

MICEとは

Meeting

企業等が主催する会議

Incentive travel

企業が従業員等を表彰する
目的で実施する報奨旅行

Convention

国際団体・学会等が主催
する総会等

Exhibition

/Event
展示会・見本市
文化・スポーツイベント

MICE (マイ) とは

- 国際会議や展示会・見本市など、多くの集客・交流が見込まれるビジネスイベントの総称。多数の参加者が集まり、ビジネス関係者・研究者の交流が生まれるなど開催都市に様々なプラス効果がもたらされる。

観光MICE企画課の主な業務とは？

- 国際会議等（MICE：マイス）の千葉市への誘致や開催の支援
- 観光イベント（花火大会、千葉湊大漁まつり等）の企画や運営
- 千葉ポートタワーの管理
- ホームタウン（千葉ロッテマリーンズ、ジェフユナイテッド千葉、アルティエーリ千葉）の推進
⇒今日はこちらを説明します！

千葉市のホームタウンチーム



アルティール千葉
本拠地：千葉ポートアリーナ

ジェフユナイテッド市原・千葉
ジェフユナイテッド市原・千葉レディース
本拠地：フクダ電子アリーナ



千葉ロッテマリーンズ
本拠地：ZOZOマリンスタジアム



ホームタウン推進の目的

- ・プロスポーツに触れる機会の増加
→ スポーツ文化の発展
- ・スポーツを通じた健康づくりの機会増加
- ・まちの活性化、一体化
- ・市の魅力向上

市への誇りや愛着
= シビックプライドの高まり

ホームタウン推進事業①

ホームタウン千葉市デーの開催！

- ・アルティリー千葉ホーム開幕戦で、千葉市の事業を紹介するブースの出展
- ・千葉市民を抽選で試合にご招待
- ・会場のビジョンで千葉市PR動画の実施



ホームタウン推進事業②

ホームタウンふれあいフェスタの開催！！

- ・市内在住・在学の小学生を対象に、ジェフユナイテッド千葉の選手たちとサッカー教室やミニゲーム等で交流。
- ・サッカーを通してスポーツの楽しさ、コミュニケーションの大切さを学べる機会となっている。



ホームタウン推進事業③

スポーツを通じた地域振興・地域貢献！

- ・毎年市内の小学校に算数ドリルやマリーンズランドセルカバーを配布。
- ・千葉市役所の部署と連携して、スポーツを通じた地域PRに貢献。



ホームタウン推進事業④

ホームゲームへ転入者を招待!!!

- ・他市から千葉市へ転入してきた方を対象に抽選でホームタウンチームのホームゲームへ招待しています。
- ・オフシーズンの場合は、チームグッズを抽選でプレゼント。

※各チームのホームゲームの日程・観戦情報はこちらで紹介

千葉ロッテマリーンズ

「野球の魅力を伝える」をテーマに、スポーツ文化の発展に貢献していきます。ファン体験の充実、選手との交流など、さまざまな取り組みを行っています。

ジェフユナイテッド千葉

「サッカーの魅力を伝える」をテーマに、スポーツ文化の発展に貢献していきます。ファン体験の充実、選手との交流など、さまざまな取り組みを行っています。

アルティール千葉

「野球の魅力を伝える」をテーマに、スポーツ文化の発展に貢献していきます。ファン体験の充実、選手との交流など、さまざまな取り組みを行っています。

ジェフユナイテッド千葉

「サッカーの魅力を伝える」をテーマに、スポーツ文化の発展に貢献していきます。ファン体験の充実、選手との交流など、さまざまな取り組みを行っています。

千葉市のホームタウンチーム チケットプレゼント



千葉ロッテマリーンズ ジェフユナイテッド千葉 アルティール千葉

転入者の皆様ご招待!

千葉市中央区千葉第一番一号
千葉市観光MICE企画課
転入者招待係 行

TEL: 043-245-5887 FAX: 043-245-5669

抽選申込受付期間

2023年10月10日(火)～10月27日(金)

抽選結果発表

2023年11月10日(金)午後1時

抽選方法

抽選機による抽選

抽選対象者

2023年10月1日現在、千葉市に転入した方

抽選回数

各チーム1回ずつ

抽選抽選

抽選抽選

抽選申込受付期間

2023年10月10日(火)～10月27日(金)

抽選結果発表

2023年11月10日(金)午後1時

抽選方法

抽選機による抽選

抽選対象者

2023年10月1日現在、千葉市に転入した方

抽選回数

各チーム1回ずつ

抽選抽選

抽選抽選

千葉ロッテマリーンズ

「野球の魅力を伝える」をテーマに、スポーツ文化の発展に貢献していきます。ファン体験の充実、選手との交流など、さまざまな取り組みを行っています。

ジェフユナイテッド千葉

「サッカーの魅力を伝える」をテーマに、スポーツ文化の発展に貢献していきます。ファン体験の充実、選手との交流など、さまざまな取り組みを行っています。

アルティール千葉

「野球の魅力を伝える」をテーマに、スポーツ文化の発展に貢献していきます。ファン体験の充実、選手との交流など、さまざまな取り組みを行っています。

千葉ポートアリーナ

「バスケットボールの魅力を伝える」をテーマに、スポーツ文化の発展に貢献していきます。ファン体験の充実、選手との交流など、さまざまな取り組みを行っています。

抽選申込受付期間

2023年10月10日(火)～10月27日(金)

抽選結果発表

2023年11月10日(金)午後1時

抽選方法

抽選機による抽選

抽選対象者

2023年10月1日現在、千葉市に転入した方

抽選回数

各チーム1回ずつ

抽選抽選

抽選抽選

最後に

①千葉ロッテマリーンズ

2024年シーズンは3月29日(金)にホームで開幕します。

②ジェフユナイテッド千葉

2024年2月にJ2リーグが開幕し、J1昇格を目指した戦いが始まったばかりです。

③ジェフユナイテッド千葉レディース

3月9日(土)にフクダ電子アリーナでホームゲームが開催されます。

④アルティエーリ千葉

2023-24年のB2リーグが佳境を迎えており、B1昇格に向けた戦いもラストスパートとなっています。

**→ぜひ、みなさんも各会場に足を運んで応援を
よろしくお願いします。**